

令和3年度発達障害教育実践セミナー

徳島県

令和3年度発達障害教育実践セミナー

徳島県の実践紹介

家族を支える具体的な仕組み

～障害児・者と

家族・保護者等に対する支援の実際～



令和3年度「特別支援教育担当教員の資質向上に向けた人材育成プロジェクト」の取組内容

徳島県のテーマ

「家族を支える具体的な仕組み」の構築

①福祉との合同研修のあり方

- 保健, 福祉部局と連携・協働した人材育成研修会の開催
→地域支えあい隊を通じた実践
- 研修コアカリの「C:家族支援」の具体化・実践



②研修形態のあり方の検討

- Withコロナ時代を踏まえた研修のオンライン化
- 研修コアカリの「B:指導・支援」の内容の一部を動画化
- 地域支えあい隊や職務研修での活用



福祉との合同研修のあり方①

人材育成に関する合同研修のねらい



教育分野



福祉分野

共通分野

「支援手法の共有化・共通言語化」



県が施策として進める「ポジティブな行動支援」や応用行動分析をベースとした問題解決手法を支援者間の「共通言語・共通の支援」として、具体的で実効性のある発達障害児・者支援を推進する。

福祉との合同研修のあり方②

人材育成に関する合同研修のねらい

【実現手段】→地域支えあい隊プロジェクト

研修コアカリキュラムをベースとした取組を展開

C 家族支援

- 早期発見・早期支援
- 家族・保護者支援

B 指導・支援

- 二次障害の理解と基本的対応

地域支えあい隊プロジェクト

- 基礎講座・体験講座
- チャレンジ講座・ステップアップ講座

- 早期発見・早期支援の重要性や徳島県内の取組について理解することができる。
- 家族・保護者支援の重要性や徳島県内の取組について理解することができる。
 - 家族・保護者のメンタルヘルスや障害受容,ペアレントトレーニングなどの実際の取組について理解する。
- 二次障害の背景について理解することができる。

地域支えあい隊プロジェクト

【実現手段】→地域支えあい隊プロジェクト

①福祉との合同研修のあり方

- 保健, 福祉部局と連携・協働した人材育成研修会の開催
- 研修コアカリの「C:家族支援」の具体化・実践



ステップアップ講座

定員 各30名

会場での受講 (講師はリモート) か、Zoomによる受講が選択いただけます。

- 1 早期発見を早期支援につなげるために (障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実際①)**
9月5日(日) 13:00~15:00
- 2 発達障がいにおける併存障がいの理解と対応**
9月25日(土) 13:00~15:00
- 3 家族を支える具体的な仕組み (障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実際②)**
10月24日(日) 13:00~16:00

各回とも別内容です。
(シリーズ研修)

ステップアップ講座は修了者の方の申込みも歓迎します。

講師 ①・③ 鳴門教育大学 准教授 小倉 正義 氏、徳島県立発達障がい者総合支援センター職員
② 医療法人むつみホスピタル 診療部長 中村 公哉 氏
場所 徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

発達障がい者等パートナー養成講座 地域支えあい隊プロジェクト

※プロジェクトの詳細は、裏面に記しています。 ※いずれの研修会も最終の研修で調整を中止することがあります。

基礎講座	定員 各20名	体験講座	定員 各15名
発達障がい等の理解について 9月5日(日) 9:30~11:30 9月14日(火) 9:30~11:30 講師 徳島県立総合教育センター特別支援・相談課 指導主事 場所 徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)		カフェ体験 10月14日(木) 10:30~12:30 10月28日(木) 10:30~12:30 講師 徳島県立池田支援学校 美高分校 場所 徳島県立池田支援学校 美高分校 (美馬市美馬町字大宮百100-4)	320円 必要 子供の職業体験、学生、発達障がい者等が参加し、障がいの生徒たちの様子をご覧ください。
チャレンジ講座 ※1は修了者のみ申込みいただけます。	定員 20名	1 発達障がい体験ワークショップ 10月23日(土) 10:00~12:00 講師 徳島県立総合教育センター特別支援・相談課 指導主事 場所 徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)	定員 30名 2 発達障がい教育講演会 11月6日(土) 13:30~15:40 演題 子どもの行動が変わる! ~学校や家庭でできる認知行動療法~ 講師 三重大学 教育学部 教授 松浦 匡己 氏 場所 徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

ステップアップ講座

定員 各30名

会場での受講 (講師はリモート) か、Zoomによる受講が選択いただけます。

- 1 早期発見を早期支援につなげるために (障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実際①)**
9月5日(日) 13:00~15:00
- 2 発達障がいにおける併存障がいの理解と対応**
9月25日(土) 13:00~15:00
- 3 家族を支える具体的な仕組み (障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実際②)**
10月24日(日) 13:00~16:00

各回とも別内容です。
(シリーズ研修)

ステップアップ講座は修了者の方の申込みも歓迎します。

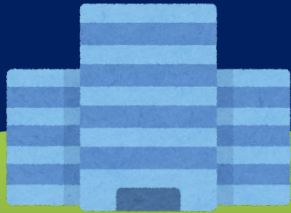
講師 ①・③ 鳴門教育大学 准教授 小倉 正義 氏、徳島県立発達障がい者総合支援センター職員
② 医療法人むつみホスピタル 診療部長 中村 公哉 氏
場所 徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

お問い合わせ
お申し込み先

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課
〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7
TEL:088-672-5200 FAX:088-672-5229

参加無料

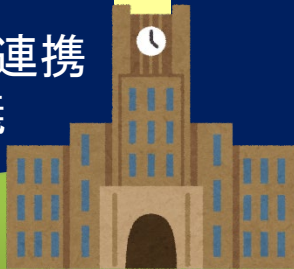
福祉・医療機関等との連携



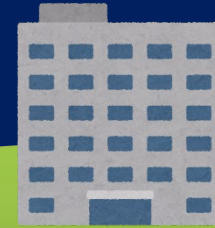
総合教育センター

指導主事研修

講師としての連携
学生への講義



医療機関・大学等



発達障害者
総合支援センター

研修の企画立案における連携
合同研修開催

「C:家族支援」への講師派遣

- 早期発見・早期支援に関する徳島県内の取組について情報提供
- 家族・保護者支援の徳島県内の取組について情報提供

→動画コンテンツ共同制作



- 家族・保護者のメンタルヘルスや障害受容、ペアレントトレーニングなどの実際の取組について講義
- 二次障害の背景について講義 →動画コンテンツ共同制作

家族支援分野の研修会開催まで

研修の企画立案における連携 合同研修開催 「C:家族支援」への講師派遣

徳島県における
発達障害児・者の
家族支援の拠点

総合教育センター

発達障害者総合
支援センター



- 早期発見・早期支援に関する徳島県内の取組について情報提供
 - 家族・保護者支援の徳島県内の取組について情報提供
- 動画コンテンツの共同制作

家族支援分野の研修会開催まで

発達障害者総合支援センターとの打ち合わせ→ 研修コアカリキュラムを提示

【C 家族支援】

1. 早期発見・早期支援（共通）

発達障害のある子どもへの早期からの支援の充実および保護者への支援を充実させる視点から、早期の気づきと早期支援の重要性について理解する。また、発達障害の疑いがある場合に、その保護者に対して適切な支援や情報提供を行うために必要な知識を学ぶ。

<主な内容>

- ・早期発見・早期支援の意義
- ・乳幼児健診におけるスクリーニング
- ・早期の相談と対応
- ・自治体による発達支援

<研修講座名(例)>

「発達障害の早期発見と早期支援」（講義・演習 90分）

○発達障害支援における早期発見・早期支援の重要性（講義 45分）

- ・1歳6ヶ月児健診や3歳児健診におけるスクリーニングの意義、発達障害特有のアセスメントツールについて解説する。
- ・発達障害の疑いがある場合に、その保護者に対して適切な支援や情報提供を行うために必要な知識や姿勢について解説する。
- ・母子保健医療分野で推進されている対策等の概要と重要性について解説する（子育て世代包括支援センターや子どもの心の診療ネットワーク事業、健やか親子21（第二次）など）。

○地域における発達支援体制の充実（演習 45分）

- ・地域における社会資源の役割等（障害福祉分野のみに限定せず）について理解を促し、発見から支援につなぐ仕組みの充実に向けて必要な取組について、意見交換を通して考える場を設ける。
- ・妊娠期からの支援や情報の共有化など、地域における切れ目のない支援の実現のために必要な取組について、意見交換を通して考える場を設ける。

動画に入れてほしい
ポイントの話し合い
にもコアカリキュラム
を用いた



- スライドを作成し、校正
- 総合教育センターで動画を収録



完成した講義動画

発達障害者総合支援センターとの共同制作

徳島県における ペアレント・メンター事業について



徳島県発達障がい者総合支援センター

～ペアレント・メンターができること②～

地域の支援のつながりから得られた
信頼できる支援者からの情報や、
地域ならではの「口コミ情報」を
伝えることができます。



職種：ペアレント・メンター入門講座 発達障害の子どもをもつ親が得る支援

6

◆ペアレント・メンター養成研修について

ペアレント・メンター養成研修を修了し、
ペアレント・メンター活動を開始したいという方々により、
平成25年4月「徳島ペアレント・メンター協会」が発足。

「徳島ペアレント・メンター協会」
ペアレント・メンター登録者数 25名

(03.4月時点)

徳島県発達障がい者総合支援センターでは、
徳島ペアレント・メンター協会の活動をバックアップしています。

11

①ペアレント・メンターによるグループ相談会

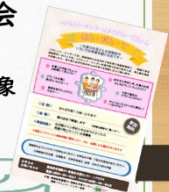
♪あん・だん・て♪

- ・発達が気になっている小学6年生までの保護者を対象
- ・年6回、県内各地で開催

*3名のメンターから、子育ての体験談をもとに
いろいろな情報提供をしています*

よくある質問

- Q: 就学先をどのように決めたのか?
- Q: 中学校生活はどうだったのか?
- Q: 周囲にどのように伝えたのか?
- Q: 本人に障がいのことをいつ、どのように伝えたのか?
- Q: 医療機関の受診や診断はどうしたのか? など



13

完成した講義動画

徳島県における 早期発見体制支援事業について



徳島県発達障がい者総合支援センター

徳島県における早期発見体制支援事業 ～目的と内容～

1. 発達障がい児を早期発見し適切な支援を行うために、関係者の知識及び対応スキルの向上を図るとともに、関係機関と連携した支援体制を図る。



研修会の実施

2. 幼児健診においてアセスメントツールの普及を図るとともに、社会性の発達についての知識や視点を広げる。

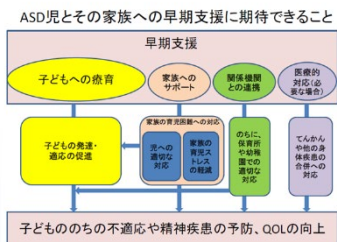


保健センターでの学習会の実施



ASDの早期発見にどのようなメリットがあるか？

- 早期発見から
早期支援につながります
- 多くのニーズのある
子どもたちへの支援につながります



出典：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所徳島・徳島前期精神保健研究部「自閉症スペクトラム障害(ASD; Autism Spectrum Disorder)の早期発見のポイント」

ハナミズキ・アイリスへの相談について

- 原則は当事者のニーズに基づいて支援する(障がいの疑いでもOK)
- 関係機関からの相談も可能
- 完全予約制 ※費用はかかりません
- 「診断」は小児科・精神科医療機関で行う

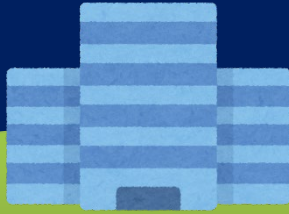
ハナミズキ・アイリスは「障がいかどうか」を判断(診断)する機関ではなく、「困っていること」をどうやって見立てるか/解決していくかを、一緒に考える機関です。課題解決のためには、本人・保護者を支える**地域の方(学校や行政等)のサポート**が重要です。



この動画を講座で活用 → 職務研修でも活用

(特別支援教育コーディネーター研修会等)

福祉・医療機関等との連携



総合教育センター



研修の企画立案における連携
合同研修開催

「B:指導・支援」「C:家族支援」への講師派遣

- 家族・保護者のメンタルヘルスや障害受容,ペアレントトレーニングなどの実際的な取組について講義
- 二次障害の背景について講義
→動画コンテンツ共同制作



医療機関・大学等



発達臨床センター

- 地域における発達支援の実践研究の推進
- 発達の多様性に応じるための教員の専門性の向上



本プロジェクトをきっかけ
に相互連携を強化

地域支えあい隊プロジェクト

Zoom ミーティング 小倉 正義 の画面を表示しています オプションを表示 00:51:52 表示

ステップアップ講座の様子

一人一人、一家族一家族異なる

- 家族構成はさまざま
 - 父・母、きょうだい、祖父母、親戚…
- 家族一人一人がいろいろな思い、ニーズを持って生きている

42

A Zoom meeting grid with 8 participants in a 2x4 layout. The participants are:

- Row 1, Column 1: 小倉 正義 (Kobayashi Masayoshi)
- Row 1, Column 2: 未来 岡本 (Mukai Okamoto)
- Row 2, Column 1: 地域支えあい隊事務局@総合教育... (Regional Support Team Secretariat @ General Education...)
- Row 2, Column 2: 未来 岡本 (Mukai Okamoto)
- Row 3, Column 1: 【125 : いーちアシスト 横田 紀子】 (125: Ichichi Assistant Yokota Noriko)
- Row 3, Column 2: 岡 生子 (Okamoto Shoko)
- Row 4, Column 1: みらい 庄野 文子 (Mirai Shano Fumiko)
- Row 4, Column 2: K.Yamamoto
- Row 5, Column 1: あすなるsakai
- Row 5, Column 2: 石元芳恵 (Ishimoto Yoko)

地域支えあい隊プロジェクト

Zoom ミーティング

小宮 正義 の画面を表示しています

オプションを表示

ステップアップ講座の様子

01:41:55

表示

ライフステージによって変化する親支援ニーズ①

- 子どものライフステージによって親の支援ニーズは異なる
- 親やその他の家族のライフステージ、家族構成によっても支援のニーズは異なる
- 乳幼児期～就学までのニーズ
 - 気づきの困難
 - 診断前後の心の支えや情報提供
 - 家庭での子育て困難に対する具体的支援
 - 就学に関する情報提供と相談

54

小倉 正義

未来 岡本

地域支えあい隊事務...

岡 生子

【125 : 一いちアシスト ...

K.Yamamoto

K.Yamamoto

みらい 庄野 文子

あすなろ sakai

あすなろ sakai

石元 芳恵

石元 芳恵

神田 留合子

神田 留合子

ミュートの解除を求める ...

ミュートの解除を求める ...

ミュート解除

ビデオの停止

セキュリティ

参加者 11

投票

チャット

画面の共有

レコーディング

ブレイクアウトルーム

リアクション

詳細

終了

発達臨床センターとの連携

専門教育大学 発達臨床センター
 マスコットキャラクター「マリーナさん」

親も子どもも ポジティブ支援で HAPPY LIFE

～ポジティブな行動支援で
 子どものやる気を引き出すしかけづくり～

一日にどのくらい 子どもをほめていますか？
 一日にどのくらい 子どもを叱っていますか？

子どものできないところに注目するのではなく、今できているところを見つけて、ほめる。それがポジティブな行動支援です。
 めげせ！「伝え上手名人」「ほめ上手名人」

令和3年11月 国立大学法人専門教育大学・徳島県教育委員会

どうすれば、望ましい行動をするようになるの？
 買い物に行くとき、どうすれば子どもが泣きわめかなくて歩くの？

望ましい行動を育てる工夫例

行動の前

入店前に
・お母さんと手をつなぐこと
・守れたらお菓子を買うことを伝える。

望ましい行動を引き出す工夫
「伝え上手名人」

行動

手をつないで歩く

望ましい行動

行動の後

・お菓子を買ってもらえる
・お母さんにほめられる

子どもがメリットを得られる工夫
「ほめ上手名人」

ポジティブな行動支援では、増やしたい「望ましい行動」を具体的に設定し、その行動を引き出す工夫を行動の前に設定します。そうすることで、望ましい行動をより多く引き出すことができます。

そして、「望ましい行動」が見られたら、その行動の後に本人がメリットを得られるような工夫を設定します。そうすることで、「望ましい行動」を増やしたり、維持したりすることができます。

この例では、買い物中「手をつないで歩くこと」を学習しています。

「伝え上手名人」になることで、子どもはやるべき行動が分かります。
 「ほめ上手名人」になることで、子どもの自信や達成感につながり、それが次のやる気や自主性へとつながっていきます。

「伝え上手名人」「ほめ上手名人」のお手本を参考にして、まずは、どれか一つ選んで取り組んでみよう。

「伝え上手名人」のお手本

- ① 「〇〇しようね」とするべきことを伝える
- ② 「〇〇したら、△△できるよ」と伝える
- ③ 具体的に伝える（例：「シャツが出ているよ。ズボンの中に入れてようね」）
- ④ 子どもが聞いているのを確かめてから、するべきことを1ずつ伝える
- ⑤ できないときは、見本を見せたり、少し手伝ったりする
- ⑥ 遊ぶとき以外は、気になるものは見えないところに置いておく

「ほめ上手名人」のお手本

- ① 叱る回数を減らし、ほめる回数を増やす
- ② 登校前（登園前）や帰宅後に必ず1回以上は、子どもをほめる
- ③ 当たり前の行動や、今できている行動をほめる
- ④ その場ですぐにほめる
- ⑤ 子どもの頑張りの過程をほめる（例：「毎日、練習を続けてすごいわね」）
- ⑥ 子ども自身の過去と比較してほめる（例：「この前より〇〇が上手になったね」）
- ⑦ 言葉だけでなく、視覚的にほめる（例：カレンダーに花丸を書く）
- ⑧ 子どもの好きなこと（物・遊び・食べ物・やる気の高まる活動等）を5個以上把握している

2

共同で保護者向けの啓発パンフレットを制作
 →本プロジェクトをきっかけに相互連携を強化

発達臨床センターとの連携



特別支援教育担当教員の専門性向上でも連携を深める

地域支えあい隊プロジェクト

②研修形態のあり方の検討

- Withコロナ時代を踏まえた研修のオンライン化
- 研修コアカリの「B:指導・支援」の内容の一部を動画化
- 地域支えあい隊や職務研修での活用



「働き方改革」の流れ

新型コロナウイルス感染症の猛威



オンライン化を進める

【引用】NHK webサイトより

地域支えあい隊プロジェクト

発達障がい者等ハートナー養成講座

地域支えあい隊プロジェクト

※プロジェクトの詳細は、裏面に紹介しています。 ※いずれの研修会も経費の事情で開催中止することがあります。

基礎講座 定員 各20名

体験講座 定員 各15名

発達障がい等の理解について

9月5日(日) 9:30~11:30
9月14日(火) 9:30~11:30

講師 徳島県立総合教育センター特別支援・相談課 指導主事
場所 徳島県立総合教育センター
(板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

カフェ体験

10月14日(木)
10:30~12:30
10月28日(木)
10:30~12:30

場所 徳島県立池田支援学校
美馬分校
(美馬市美馬町字大宮西100-4)

320円
必要



学校の概要説明、学校員
字、授業体験等を行います。
普段の生徒たちの様子を
ご覧ください。

チャレンジ講座 ※1は修了者の方も 申込みいただけます。 定員 20名

体験講座 定員 30名

1 発達障がい体験ワークショップ

10月23日(土) 10:00~12:00

講師 徳島県立総合教育センター特別支援・相談課 指導主事
場所 徳島県立総合教育センター
(板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

2 発達障がい教育講演会

11月6日(土) 13:30~15:40

演題 **子どもの行動が変わる!**
~学校や家庭でできる認知行動療法~
講師 三重大学 教育学部 教授 松浦 直己 氏
場所 徳島県立総合教育センター
(板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

ステップアップ講座

定員 各30名

会場での受講(講師はリモート)か、Zoomによる受講か選択いただけます。

1 早期発見を早期支援につなげるために(障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実践①)

9月5日(日) 13:00~15:00

2 発達障がいにおける併存障がいの理解と対応

9月25日(土) 13:00~15:00

3 家族を支える具体的な仕組み(障がい児・者と家族・保護者等に対する支援の実践②)

10月24日(日) 13:00~16:00

講師 ①・② 鳴門教育大学 准教授 小倉 正義 氏、徳島県立発達障がい者総合支援センター職員
③ 医療法人むつみホスピタル 診療部長 中村 公哉 氏
場所 徳島県立総合教育センター(板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

各回とも別内容です。
(シリーズ研修)

ステップアップ講
座は修了者の方
の申込み歓迎し
ます。

〈募集時8月~〉

会場での受講とZoomアプリによる受講の両方を保障

→徳島県の感染状況悪化

〈講座開始時9月~11月〉

ほとんどの内容をオンライン化

中止した講座はなし

→感染状況に左右されず

地域支えあい隊プロジェクト

トラウマ関連症状の子ども特有の現れ方

子どものストレス反応は身体症状や行動にあらわれやすい

- ・親と離れることを極度に恐れる（分離不安）
- ・それまで身につけた知識や技術を忘れる
- ・内容のはっきりしない悪夢や睡眠障害を訴える
- ・トラウマとは直接関係しないものへ新しい恐怖心が生じる
- ・しぐさや会話、遊びや絵などでトラウマを表現する
- ・原因不明の体の痛みや苦痛（心の痛み）を訴える
- ・イライラしたり、攻撃的になる

身体化

行動化

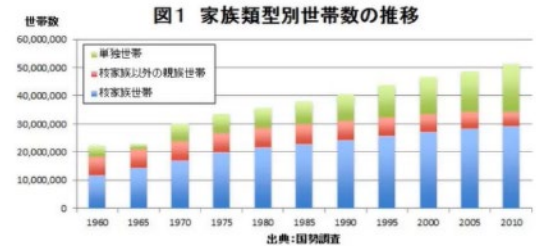
言語化

自分の心の状態を言葉で十分に理解したり説明したりできない

親にゆとりがない



- ・共働きの増加
- ・離婚の増加
- ・核家族化



→親が話を聞く時間がない、心の余裕がない



医療機関との連携

医療従事者への配慮

→「B:指導・支援」の研修講座 動画制作につながる

地域支えあい隊プロジェクト

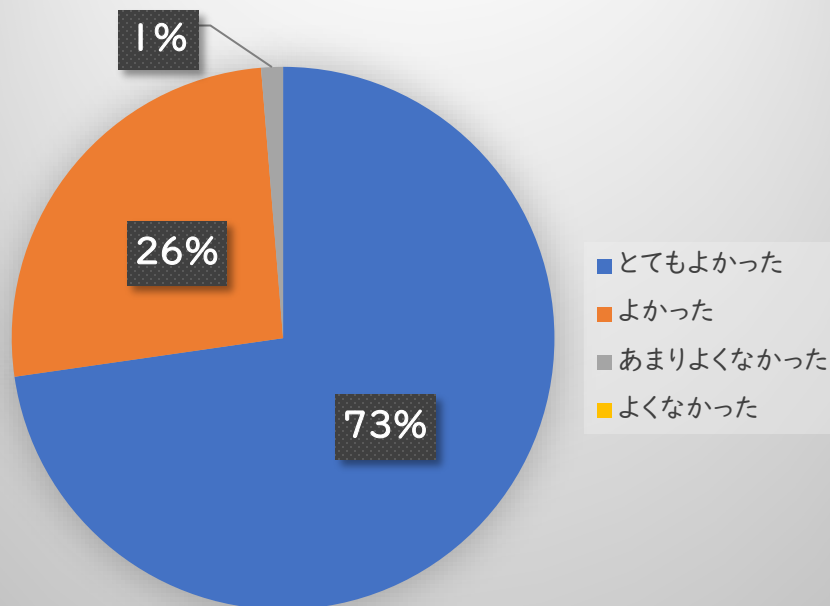
中村 T の研修用動画キャプチャー 1 分

地域支えあい隊プロジェクト 受講者アンケートの結果から

令和3年度地域支えあい隊プロジェクト参加者(のべ 85名) 回収=77人
基礎講座(8名) 体験講座(18名) チャレンジ講座(24名) ステップアップ講座(35名)
発達障害教育講演会(245名) *発達障害者総合支援センターとの共催

受講者満足度

受講者講座満足度



受講者の声

精神障害は他の病気と同じで早期発見することで、治癒したり長年にわたり患うことをストップさせることができることを知ることができました。(40代・福祉施設職員)

ペアトレ、名称は知っていたが、聞いたことがある程度だったので、今回の講座で具体的にどんな感じで行われているのか、実例も踏まえてとても良く分かった。(40代・福祉機関職員)

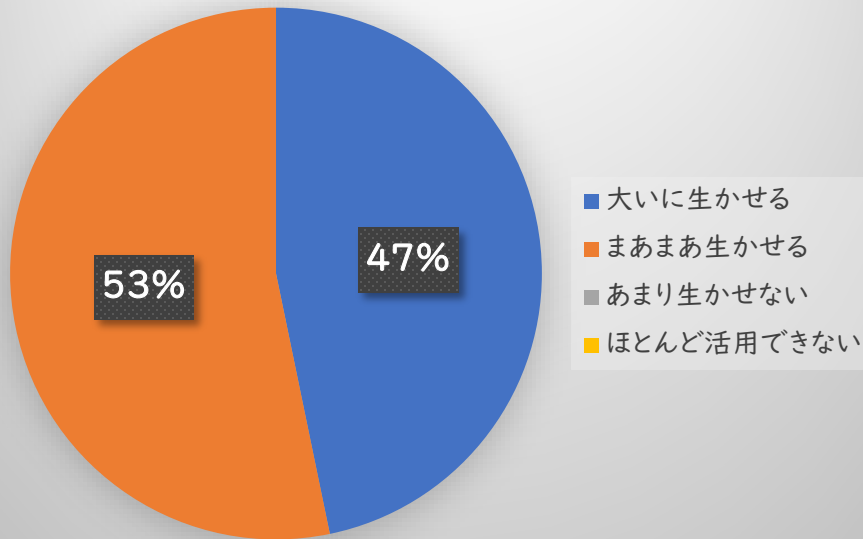
ペアレント・メンターを知り、福祉や教育機関以外にも地域で設定された相談会があることや、メンターが保護者にとってより身近に感じることのできる相談相手であることを知りました。(50代・放課後学童保育支援員)

地域支えあい隊プロジェクト 受講者アンケートの結果から

令和3年度地域支えあい隊プロジェクト参加者(のべ 85名) 回収=77人
基礎講座(8名) 体験講座(18名) チャレンジ講座(24名) ステップアップ講座(35名)
発達障害教育講演会(245名) *発達障害者総合支援センターとの共催

今後への活用度

今後への活用度



受講者の声

オンラインの研修であったが、意見交換がたくさん設定されていて、他の受講者の声をたくさん聞いてよかった。(40代・特別支援学校教員)

初めてブレイクアウトルームで話をするときは、見知らない人とだったので勇気が必要だった。でも、話をしてみると共感できる部分があり、対面で話をするのと同じだと思えた。(30代・児童放課後等デイサービス事業所職員)

成果

□研修コアカリをベースとした福祉部局との連携による支援人材の育成

- －他機関との連携の拡大・深化
- －「教育」と「福祉」の合同研修の実施 「C:家族支援」
- －徳島県内完結でコアカリキュラムベースの研修会を実施

□Withコロナ時代を踏まえた研修のオンライン化

- －研修のオンライン化ノウハウの蓄積
- －研修コンテンツの獲得と他の研修での活用

今後の課題

□研修コアカリの「共通」部分について、さらなる研修企画を推進

－「B:指導・支援」について、講座の維持・発展（中～上級）

－研修コアカ리를ベースとして福祉部局とのタイアップをさらに深化させる必要性

□修了者とのつながりの継続

－研修修了者に対する「継続講座」の開催／事例検討会の開催

→【D地域連携・協働】につながる多職種連携へ

－「教育」と「福祉」をつなぐ研修の企画（オンライン事例検討会）